

2019.1 vol.14

みんなの力で浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄をつなごう!

# SUBWAY NEWS LETTER 7

回覧

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会 第14号

## 浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄延伸実現に向けて

事業報告 地下7期成会

### 第2回役員会を開催

さいたま市、さいたま市議会へ地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸の早期事業化実現に向けた要望書の提出について

■開催日:平成30年11月15日(木)午後2時00分～  
■場所:ソニックシティビル 7階 706会議室

当期成会では、去る11月15日(木)に役員会を開催しました。

当期成会は設立から5年が経ち、さいたま市の試算した「都市鉄道等利便増進法」適用に関して一般的目安を上回るケースが公表されるなど、延伸実現に向けて節目の年となっており、このようなことから延伸の早期決断に向けた働きかけをさらに強めるべく、昨年度に引き続き、さいたま市及びさいたま市議会へ要望書を提出することが承認されました。

要望書の提出は、本年1月から2月頃を予定しております。また、地下鉄7号線延伸事業化の早期実現に向けた機運醸成並びに啓発を目的とした「決起大会」の開催についても承認されました。

そのほか、中間駅周辺のまちづくり構想の方向性を確認する等、延伸の事業化に向けた活動について協議いたしました。



#### 要望内容

1. さいたま市、さいたま市議会、さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会が一体となった延伸の早期事業化の実現
2. 地下鉄7号線延伸の事業着手に向けた早期決断
3. 延伸を目的とした整備基金の拡充
4. 都市鉄道等利便増進法の確実な適用に向け、中間駅周辺の具体的なまちづくり計画の策定
5. 延伸関係自治体や鉄道事業者等による「協議会」の早期設置と事業化に向けたタイムスケジュールの明確化



詳細・お問い合わせは下記まで

さいたま商工会議所 〒330-9626 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階  
まちづくり支援課 TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720

事業報告 地下7期成会

### 夏～秋イベントで啓発活動

さいたま市の夏・秋には毎年多くのイベントが開催され、たくさんの方々が街にぎわいます。

今季はラジオCMを活用し、延伸地域のイベントや魅力を広くPRいたしました。

また、多くのイベントでにぎわいを見せる、延伸の中心地域である岩槻区にて、地下7期成会の啓発活動を実施いたしました。

イベント当日には、にぎわい創出の一助となるべく、会場に訪れた皆様へ啓発品の配布を行い、期成会活動へ理解を深めていただくとともに、「地下鉄7号線延伸実現」に向けた機運の醸成に努めました。



2018人形のまち岩槻まつり 8/19日



第14回岩槻やまぶきまつり 10/14日



第4回いわつきマルシェin目白大学 10/28日



城下町岩槻 鷹狩り行列

第6回城下町岩槻鷹狩り行列 11/3日





## 地下鉄7号線とは?

目黒～赤羽岩淵～浦和美園(35.9km)からなる東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線(SR)の総称で、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道線(SR)、東急目黒線の3路線が相互直通運転をしています。



## さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会



2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。
3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

### 一期成会に加入するには

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業者の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

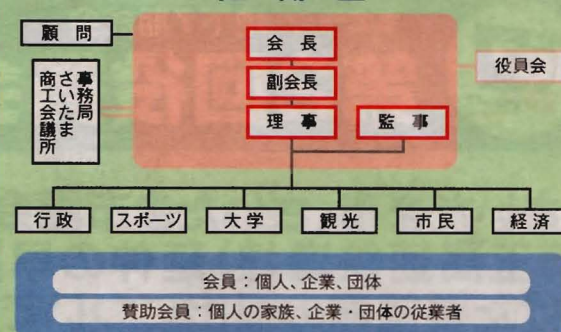
### 一期成会とは

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま市」で応援する組織です。主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

### 一期成会が行うこと

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。

## 組織図



## ご案内 延伸エリアのイベント

### 第16回 人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり

3月3日は雛まつり。人形のまち岩槻で「雛めぐり」を楽しみませんか。岩槻は室町時代から栄えた城下町で、日本一高い人形の産地です。今も数多く活躍する職人さんたちの作品や、商家に伝わる古い人形などを数多く飾ります。「観る」「創る」「食べる」をテーマに様々な企画が盛りだくさんです。

- 開催日 / 2月23日(土)～3月10日(日)
- 会場 / 岩槻駅東口周辺商店街
- 主催 / 人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会
- 問合せ / 実行委員会事務局 TEL.070-1535-8177

### おひな様パレード

- 開催日 / 2月23日(土)・3月3日(日)両日とも13:00～
- 会場 / 岩槻駅前クレセントモール

### 雛めぐりフォトコンテスト

- 撮影期間 / 2月23日(土)～3月3日(日)
- 応募締切 / 3月6日(水)まで 郵送・持込可
- 表彰式 / 3月10日(日)

※詳細は応募規定によります。

## 地下鉄7号線 延伸地域 『散策マップ』

地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。東京五輪2020競技大会をはじめ各種国際・世界大会の開催を見据え、外国人観光客への散策マップを作成しています。また、本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム(絵文字)入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅間を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。(市内の各区役所窓口等で配布しております)

## 鉄道今昔物語

### 計画運休

### 第11話



皆さま明けましておめでとうございます。本年も、さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会をご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、去る9月30日には大型の台風24号が関東地方に接近し、お昼頃にJR東日本が20時以降の列車の運転を見合わせると発表、続いて首都圏の多くの鉄道路線でも時間を明示し、運転を見合わせる事態となりました。いわゆる計画運休というものなのです。

この時は日曜日ということで、当日の発表でも余り大きな混乱はなかったようです。個人的に計画運休自体には大賛成ですが、出来れば24時間以上前に発表して頂きたい思います。この日は都内某所で打ち合わせの予定があり、最寄り駅まで歩いてる途中で情報が打ち合わせ中止の連絡を頂きました。知らずに都内へ出掛けていたら、帰宅難民化していたことでしょう。

計画運休は、異常時に社会全体へ状況を知らしめると共に、早期帰宅・事業の早締めの促進や、イベントなどの中止や休止、不要不急の外出など、社会全体の安全を確保することにも繋がります。ただ、その方法には慎重かつ全体に対応することが必要だと思えます。

つまり、A電鉄は動いているのに、B鉄道は動かない、ということが無いように右へ倣えて連帯することです。そして、重要なのは音頭取りだと思います。これは、国土交通省が発令するか、もしくは一番大きなネットワークを持つ社局が行うべきで、首都圏で言えばJR東日本ではないでしょうか。このあたりの判断基準は相当難しいと思われませんが、鉄道の基本である「先ずは止まれ」の思考で判断して頂きたいと思えます。大事なことは、結果

### 著者紹介



鉄道ジャーナリスト 渡部 史絵氏

2006年より公式に鉄道のお仕事を開始。鉄道の有用性や魅力を発信するため、鉄道に関する書籍の執筆や監修に日々励む。月刊誌や新聞等の連載や寄稿など執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多く行っている。著書に、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』『電車の進歩細見』『首都圏 地下鉄の秘密を探る』『進化する路面電車』『鉄道なぜなにブック』(交通新聞社)、『写真で振り返る JRダイヤ改正史』(飛鳥出版)、『譲渡された鉄道車両』『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『鉄道のナゾ謎100』『鉄道のナゾ謎99』『思い出の昭和50年代国鉄特急』(ネコ・パブリッシング)など、多数。公式ブログ <http://ameblo.jp/shie-rail> 公式ツイッター <https://twitter.com/shierail>

がどうであれ24時間以上前に予告することではないでしょうか。計画運休が定着している関西では、2～3日前に予告を出しています。こうすることで、利用者にもあまり迷惑をかける、計画運休を実施することができます。

そして今回の反省点としては、翌朝の初電から各社の運用が混乱し、運転の見合わせが各地で発生してしまったことです。多くは、塩害などによる短絡や地絡、軌道回路の途絶、粘着力の不足、降雨による土砂災害や倒木などのようでしたが、今回の事象を教訓として、運休後の運転再開に際しての準備計画も十分に検討する余地があるでしょう。

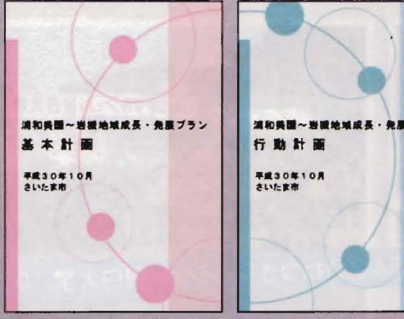
## さいたま市からの報告 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの改定について

**目的** 本プランは地域の魅力を高め、定住・交流人口を増加させ、同地域に計画されている地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸事業の評価を向上させ、コンパクトシティ+ネットワークを実現し、持続可能なまちづくりを目指すための計画です。

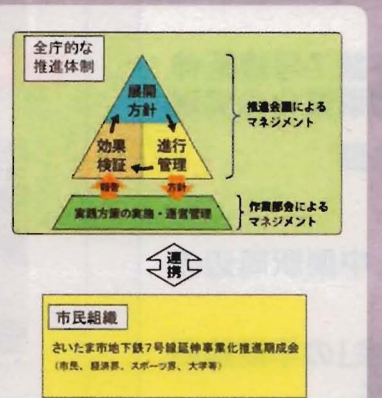
**プランの進め方** 本プランを進める上で、まず市民(市民組織、各種団体なども含む)と行政(自治体)が連携・協働し、

また、本プランを進めたことによるまちづくりの効果を市全体に波及させることにより相乗効果が生まれ、均衡ある成長により市全体の価値を高め「東日本の中枢都市」づくりを推進します。

まちづくりを推進することが必要となります。まちづくりに関する市民の価値観は、多様化が進んでおり、多くの異なる意見を調整し、合意を得ながら進めていくことが大切となっています。そのため、地域社会を構成する市民、大学等をはじめとしたすべての関係者と行政は、相互理解のもと、それぞれの役割と責任を担い、目標実現に向けて参画・連携・協働により推進します。また、当然のことながら国・県・沿線自治体や鉄道事業者等とも連携し目標の実現を目指します。



市のHPや各区情報公開コーナーで閲覧できます。



進行管理イメージ

## 目白大学 を訪問 延伸地域の魅力あるまちづくりに向けて意見交換

去る9月27日(木)、目白大学沢崎学長を表敬訪問致しました。当期成会からは江田会長、さいたま商工会議所からは佐伯会長が出席しました。佐伯会長より、当期成会の理事として地下鉄延伸の早期実現、地域のまちづくり構想の策定について様々な助言をいただいていることに御礼を述べるとともに、さいたま市より延伸実現に不可欠な需要予測と費用対効果等の採算性に関する数値が都市鉄道等利便増進法適用の一般的目安を上回ったこと、「中間駅」の開設とその周辺のまちづくりが最重要課題であることを述べられました。沢崎学長からは、「本年度の4月から社会学部メディア表現学科がメディア学部メディア学科として新設されました。これに関連してさいたま市とは以前より、若い世代に選挙での投票を呼び掛けるPR動画を共同制作するなど協力関係を築いていること、短期大学部の方では本年4月より歯科衛生士を養成する、歯科衛生学科を設立するなど新たな大学教育に取り組んでいます。地下鉄延伸が実現されれば大学としても更なる展開に臨めます」との意欲的な意見があり、大変有意義な意見交換を行うことができました。



目白大学表敬訪問